

平成 30 年度第 1 回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会阿山地域部会
議事概要

- 開催日時 平成 30 年 8 月 20 日（月） 午前 10 時～
- 開催場所 阿山支所 1 階 第 2 会議室
- 出席者（敬称略）

【委員】

上林 良敏（河合地域住民自治協議会会長）、城 吉富美（鞆田自治協議会会長）、北川 幸治（玉滝地域まちづくり協議会会長）、前川 勇雄（丸柱地域まちづくり協議会会長）、栗原 清重（阿山老人クラブ連合会会長）、谷本 敏彦（伊賀市商工会阿山支部支部長）

【事務局】

交通政策課 課長 福岡秀明、副参事 吉岡徹也、主幹 坂森荘平
主査 吉福将徳、
阿山支所 支所長 居附 秀樹、振興課 課長 藤林 宏通、
主任 瀧藤 孝尚

- 傍聴者 1 人

■会議概要

1. 開会

阿山支所長 挨拶

支所長	本年度第 1 回目の地域公共交通活性化再生協議会阿山地域部会の開催にあたりお忙しいところご出席いただき、まことにありがとうございます。日頃より、地域公共交通施策の推進にご理解、ご協力いただいておりますこと厚くお礼申し上げます。本日、事項書の事項についてご審議いただきたく、よろしく願いいたします。
-----	--

2. 協議事項

上野コミュニティバス「しらさぎ」の運行計画について
事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】

部委員	県伊賀庁舎バス停廃止とのことだが、県庁舎から新しい市庁舎まで徒歩で何分ぐらいか。
事務局	1 分ぐらい。
部委員	以前は文化会館から街中へ行くコースがあったと思うが、今度は文化会館から銀座通りへはバスが通らなくなるということか。

事務局	そうです。
部委員	文化会館から銀座の中まで行きたかったら、上野市駅まで行って戻るか、この名阪の東口のところから歩くしかないのですね。それが市役所で乗り継ぐということですね。 仮に銀座通りの方が文化会館へ行こうと思うと、最低で言うと上野市駅まで行かなくてはならない。
事務局	そうです。
部委員	私も前、利用させてもらった。そのときは、銀座通りから文化会館へ行くルートがあったので良かったが、これを見ると文化会館へ行くのが、行きにくくなったように思う。その辺は、市民の方から意見は出なかったのか。
事務局	上野地域部会は明日開催します。街中の方が文化会館へ行っていただくについては、上野市駅へ行っていただくこととなります。銀座通りの百五銀行から恵美須町まで800m程ありご不便をおかけしますが、上野市駅を出発の起点と考えておりますので、そちらで乗り継いでいただくか、そこまでお越しいただくことになろうかと考えております。
部委員	わかりました。
部委員	我々のところからハイトピアのところに着いて、これで時間がうまいこと合っているのか。
事務局	朝晩の到着は最優先で考えさせていただいており、玉滝線が到着する前に出てしまったというようなことは避けるようなダイヤにしています。ただ、すべての便が同じ時間に到着するわけではないので、多少の待ち時間が発生することはありますが、一定考慮してダイヤのほうは考えさせていただいています。
部委員	新しい市役所がちょっと遠くなったから、利用する人もいると思う。ほとんどの人は車に乗って直接行くかもしれないが、バスに乗って行く人もいると思う。
事務局	申し遅れましたが、本来これは上野エリアの話ですので上野地域部会で説明をと思っていましたが、路線バスが上野市駅に着きます。各支所から来られますので、他の地域部会の皆様にもこういった計画をしているということをお諮りするようにと、協議会の会長からお話がありました。 ダイヤの改編につきましては、すべてが合わないのですけれども、市役所、市民病院といったところへアクセスできるような改編にさせていただいているところです。

部委員	市の目的は、そういった市民の皆さんに利用してもらうというところかと思うが、ちょっとでも収入が上がるようにといったことは考えているのか。
事務局	ダイヤについて、いくつかの改編をさせていただいております。乗り継いで行くことによって、場所によっては400円かかるところとか、時間がかかる等々ありましたが、そういったことを改善することによって、皆さんに乗っていただきやすいような改編にしたいと考えております。それによって収入も上がるのではないかと考えています。
部委員	市議会の全員協議会が21日にある。かねがね思っていたが、議員さんの協議会の前に、我々の意見を聞いてから市議会議員の全員協議会へ行くのが本来ではないのか。これだけでなく、いろいろなときに議員のほうで先行している。
事務局	今日がまず最初の地域部会です。明日、全員協議会へ報告をさせていただきます。事前に議員さんのほうに報告させていただいた、ということではございません。
部委員	上野地域部会は明日でしょう。議員さんのほうへ先にしてしまっただけというのはいかがな気がする。
事務局	そこはご理解をいただきたいところで、こちらの会議は法定協議会、法律に基づいた会議です。独立をしていますので、当然粛々と進めさせていただくこととなります。地域へこういった改編の計画を説明させていただいている中では、議会のほうへも説明をさせていただくといった二本立てで進めています。どちらが先ということではないと考えています。
部委員	もっと早く我々のほうへ説明をしてほしい。
事務局	できるだけ早くご提示をと思っていましたが、三重交通とダイヤの1分、2分の差まで詰めていまして遅くなってしまい、申し訳ございませんでした。
部委員	これが1月1日からのダイヤだが、4月1日から三重交通の路線バスも変更になるとしたら、このしらさぎのバスの時間は変わる可能性があるのか。
事務局	4月に変わるダイヤをある程度見越して作ってあります。そのため、逆に1月1日のほうが合っていないようになる可能性があります。ただ、1月にダイヤを作って、さらにその3ヶ月後にすぐに変えてしまうと、利用者の方にご不便をかけてしまいます。三重交通

	の改正と合えばいちばん理想に思うが、三重交通の改正時期が10月、4月といったことが多く、その数ヶ月間が乗継としてうまく合っていない可能性はありますが、今考えているのは4月のダイヤ改正を見越した上で、時間を考えさせていただいています。
部委員	市役所の職員が市役所まで乗ることはあるのか。
事務局	乗るのは可能な時間帯ではあります。改編前は8時以降の出発だったが、今回早くなります。基本的な考え方としては、市民の皆さまが開庁に合わせて、あるいは閉庁に合わせて来ていただける時間編成にしているが、市職員も乗ることはできる時間帯になっています。
部委員	そういう利用デーを作らなくてはいけないな。
事務局	すべてではないが、何本かは市役所の開庁時間に着く便もあるということになります。

3. その他

【質疑応答】

部委員	交通の部署には関係ないことかと思うが、市役所が新しくなると友生インターの渋滞が今よりもひどくなるのではないか。名阪国道を降りてから市役所へ行きやすくすることを、市は考えているのか。
事務局	今、庁内では新庁舎の建設検討委員会が各部会をいろいろ持っています。直接関係している部会ではありませんが、道路のアクセスについての部会もありますので、どのくらいの渋滞に今後なるのかといったところの積算をしているとは聞いています。ご意見いただいたことをお伝えさせていただきます。ありがとうございます。

阿山行政巡回サービス巡回車の時刻改正について

阿山支所振興課長から資料に基づき説明

【質疑応答】

部委員	運転士から、どういった利用者の声が上がっているか聴き取るようなことは、たまにはやっているのか。
事務局	定期的にはしていない。
部委員	運転士は真の声を知っていると思うので、運転士を集めて話を聴いてもよいと思う。
事務局	運行事業者に教えてもらいながら、来年度に向けて進めていきたいと思います。

部委員	しらさぎ号の件だが、区へ話をするのに回覧でいいのか。周知の方法は。
事務局	全戸配布はなかなか難しいですが、最低でも小場の単位で周知をさせていただきたい。全市的に行っていきたいと思います。
部委員	資料1-1中頃に書いてあるが、4月～7月で40%の利用者減となっている。今後そういった減少の傾向が続くのであれば、非常に厳しく、経営上の問題に発展すると思う。マイカーから行政バス利用へ戻ってくる方がいれば宣伝効果が大きいと思うし、利用促進のためにはわかりやすい営みをしていかないといけない。利用者へのアプローチが欠かせないと思う。そういった営みをしていかないと利用者減が続き、結局のところ特定の方だけの交通機関になってしまう可能性がある。スーパー等が出しているバスがあるが、はっきり言えば行政バスのライバルだ。選択肢が増えるといったことは便利にはなるが、そういったライバルとの競合が懸念される。今バスを利用していない方も、いずれ将来は利用者になる。そういった方へのアプローチをしていかないと厳しい。
事務局	<p>おっしゃるように全国的に人口が少なくなっている。絶対的な人数が下がってくる中、必然的に利用者数も下がってきています。公共交通機関は企業会計ですので利用がなければ、三重交通はこの玉滝線についてもやめるということを言っています。私ども、この7月、8月、9月を公共交通機関の利用促進期間として皆様に周知をさせていただいています。当然、市のほうも率先して乗るといことで取り組んでいます。地域の皆様にもご理解いただいて、1回でも多く乗っていただきたいという思いでございます。</p> <p>三重交通は、玉滝線は今年度をもって廃止するということを言っていました。それではいかんということで、三重県に中をもつていただいている会議がありますので、その会議の中で、ダイヤ改編により高校生が乗ってくれると大きいので、今年度まででなく最低でも検証する期間をみてほしいと申し入れてあります。私ども、当然できることはやっていく中で、三重交通は全県的に赤字路線が多いことから路線整理の方向も打ち出しているの、ぜひとも残していくためには皆様にご理解いただいて乗っていただきたいと、皆様にご周知をお願いしたいと考えていますのでよろしく願いいたします。</p>
部委員	市の財政状況が厳しいということはよく聞かすが、阿山の行政バスは1便あたり1人乗っているだけだ。大きく回っており、行きたい

	<p>ところに直通できないから少ないのではないか。10人乗れる車に1人というのはちょっとどうかと思う。思い切って公共タクシーを市が運用してはどうか。そういうふうに行っているところもあると聞くので、今すぐどうこうではないが検討課題ではないかと思う。</p>
事務局	<p>デマンドタクシー等、過去にいろいろ検討されていたと伺っています。今、神戸地区が地域運行バスというのを始めました。1週間1回、火曜日に何便か動かしています。買い物に行きたいという高齢の方の要望に答えて、スーパーへ行くようにして、おっしゃっていただいているように、目的に合った、地域が運行するバスというのをご検討いただけるのではないかと思います。</p> <p>デマンドタクシーを市が運転するかどうかということについては、全市的な問題もあり、また地域が広いことでもありましてなかなか難しいかと思いますが、地域運行バスに替わるタクシーということも考えられるかと思っています。山間のところ等、地域性があるかと思いますが、地域性に応じたかたちで検討はしていけるのかなという思いはございます。可能性はあると思っています。</p>
部委員	<p>丸柱の地域でバスを買って登録しようとしたが、伊賀市はそういった業者が網羅しているのでだめだと言われた。</p>
部委員	<p>巡回バスの限界みたいなものを前から言っていて、デマンドを検討したと先ほど言われたが、現状を維持している以上、市がいっしょには検討していないと思う。少子高齢化といったこともあるので、現在のやり方を変えていく必要もあるのではないか。住民自治協議会や自治会がバスを運行するのであれば、特区のようにして市が助成すればよい。阿山では、買い物に滋賀のほうへ行く人が多い。公共交通の乗り継ぎであるとか、あるいは直接滋賀へという話は確かにしている。でも、いっこうにそういうことを検討しようという会ができたとも聞かない。</p>
事務局	<p>行政バスについて、デマンド方式の可能性がないことはないと思いますので、それは地域で、支所も含めまして検討していけるのかと思います。また、先ほど申しました神戸地区の地域運行バスですが、基本的に市から8割の補助が出ています。運行は当然、地域がやっていただきますが、業者委託して、中部運輸局の許可も取りながらやっていただいています。市が補助していくという事業ですので、そういった制度もご活用いただければと思います。いろいろなところで制度への反響もありまして、説明してくれないかと言っていただき、いくつかの地域へ説明に行かせていただいています。ま</p>

	た、必要がありましたらおっしゃっていただけたらと思います。
部委員	<p>先ほどのデマンドの話ですが、この阿山の部会でも、部会が出来た頃にここでもやってみようとかかなり議論をした。他にやっているところへ、視察へ行こうという話も出たと思う。でも、地域的なことを考えると無理があるということで、コミュニティバスがやはり利用しやすいのではないかという話になった。デマンドの場合、1日、2日前に予約しておいてからということになり、急に乗りたいたって利用することはできない。また、いろいろなところからの利用が同じ日、時間に重なると車の台数の問題もあり、デマンドは無理かなという話になったように思う。持続的に検討していく話にはならなかったと思う。</p> <p>それから、安全性でいくと、今、個人の車にはドライブレコーダーがだいぶ付いてきているが、バスはどうか。運転士のためにも、乗客のためにも必要だと思う。しらさぎはどうか。</p>
事務局	委託事業なので、市に責任がないというわけではないが、運行事業者の責において行っていることと理解している。
部委員	行政指導してください。高いものではないのだし。
事務局	各地域の行政バスも含めて検討します。
部委員	いがまちはやっています。対応してください。

(以上)